

2024 年 11 月 20 日

各位

SBI FX トレード株式会社

SBI FX トレードと中央大学が日本の FX 投資家の属性と収益性の関係を分析 ～口座レベルデータから見えてきたエビデンス～

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の連結子会社で、個人投資家向けに為替取引サービスを提供する SBI FX トレード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤田 行生）と学校法人中央大学（所在地：東京都八王子市、学長：河合 久）は、先に両者間にて締結した「FX 投資に関する研究についての契約」に基づき、中央大学経済学部 吉見太洋（ヨシミ タイヨウ）准教授を中心に、SBI FX トレードが提供した口座レベルのデータを利用し、外国為替証拠金取引（以下、FX）投資の収益性が、投資家の属性にどのように依存するかを検証しました。



本研究成果は、2024（令和 6）年 11 月 9 日に開催された「日本金融学会中部部会 2024(令和 6)年度第 1 回研究報告会」でも発表されました。詳細につきましては、中央大学にて、プレスリリースを実施しておりますので、以下のリンクよりご覧いただけます。

<https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/communication/press/2024/11/77627/>

本研究で得られた知見等は SBI FX トレードのお客様に対する有益な情報提供に活かすとともに、取引環境やサービス仕様の改善にも反映するよう努めます。

【その他、中央大学との取り組み】

中央大学との産学連携におけるその他の取り組みとして、2024 年 10 月 29 日（火）に中央大学（国際金融論）にて、「外国為替取引の基礎と資産運用」の講義を行いました。

本講義には約 230 名の学生が参加し、学生の皆さんからは「FX の利点や実際の取引例などの例を用いてお話ししてくださり、理解が深まりました。」「今回の講義を通じて、FX 取引の基本やリスク管理の大切さを学びました。通貨の価格が国際情勢や経済指標で変動することを知り、世界のニュースに関心を持つ必要性を感じました。」など多くの感想を寄せていただきました。

<出張講義の様子>



今後もこうした出張講義等の活動を通して、若年層の金融リテラシー向上支援にも引き続き、取り組んでまいります。

【中央大学について】

中央大学は、1885年の創立から「實地應用ノ素ヲ養フ（じっちおうようのそをやしなう）」という建学の精神のもと、いつの時代にも社会を支え、未来を拓くことを使命とし、実社会の課題に対応する教育・研究に取り組んでいます。

「Chuo Vision 2025」に基づき、中央大学は持続可能な社会を築き、国際的に貢献できる実践力を持つ次世代の人材育成を目指して、2026年から2027年にかけて新しい5つの学部を設置する計画を進めています。

2026年4月には現在の理工学部を再編し、基幹理工学部、社会理工学部、先進理工学部の3つの学部を、2027年4月には、デジタル×スポーツ、デジタル×農業の2つの学部を開設に向け設置構想中です。

URL : <https://www.chuo-u.ac.jp/>

【SBI FX トレード株式会社について】

SBI FX トレードは、東証プライム市場上場のSBIホールディングス株式会社傘下、SBIグループの100%子会社です。外国為替証拠金取引（FX）に特化し、初めての方にもわかりやすく、上級者の方にも納得いただける高度なお取引など、FX 専業だからできる、きめ細やかなサービスをお届けしています。

URL : <https://www.sbifxt.co.jp/>

SBI FX トレード株式会社（金融商品取引業者）

関東財務局長（金商）第 2635 号

加入協会：

一般社団法人 金融先物取引業協会

一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会

<研究に関すること>

吉見 太洋（ヨシミ タイヨウ）

中央大学経済学部 准教授

E-mail: yoshimi@tamacc.chuo-u.ac.jp

<広報に関すること>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

SBI FX トレード株式会社 企画室 03-6229-0915